

救急科における外科的疾患の予後に関連する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2018年1月5日 ～ 2027年3月31日

〔研究課題〕

救急科における外科的疾患の予後に関連する要因の研究

〔研究目的〕 当院救急科を受診する外傷やそれ以外の外科的疾患（一般外科急性期症例、外傷、熱傷など）患者に対する救急診療とその結果に関するデータを院内規模で集積し、成績を分析し、今後の治療の改善に役立てるための研究です。

〔研究意義〕 これらの結果を、社会に発信することにより救急症例に対する診療の質の改善に役立てます。外科的疾患の患者の治療成績を把握し、改善点を見出し、当教室での外科的治療の質の改善につなげ、ひいては救命率の向上や予後改善につなげる可能性があります。

〔対象・研究方法〕 当院救急科を受診する外傷やそれ以外の外科的疾患（一般外科急性期症例、外傷、熱傷など）患者さんを対象に、入院中の治療内容、検査結果、入院中の経過などを解析します。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部救急医学講座

〔個人情報の取り扱い〕

患者さんのデータは帝京大学医学部救急医学講座で厳重に保管・管理します。

〔その他〕（健康保険・謝金等について、必要に応じて記載する。）

特にありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：坂本哲也(帝京大学医学部救急医学講座教授)

研究分担者：伊藤 香(同講師)、藤田尚(同准教授)

住所： TEL:03(3964)1211 (代表) [内線 33129]